

(A) 電子署名付きデジタルはがき、デジタル信書EM
信頼されたはがき用

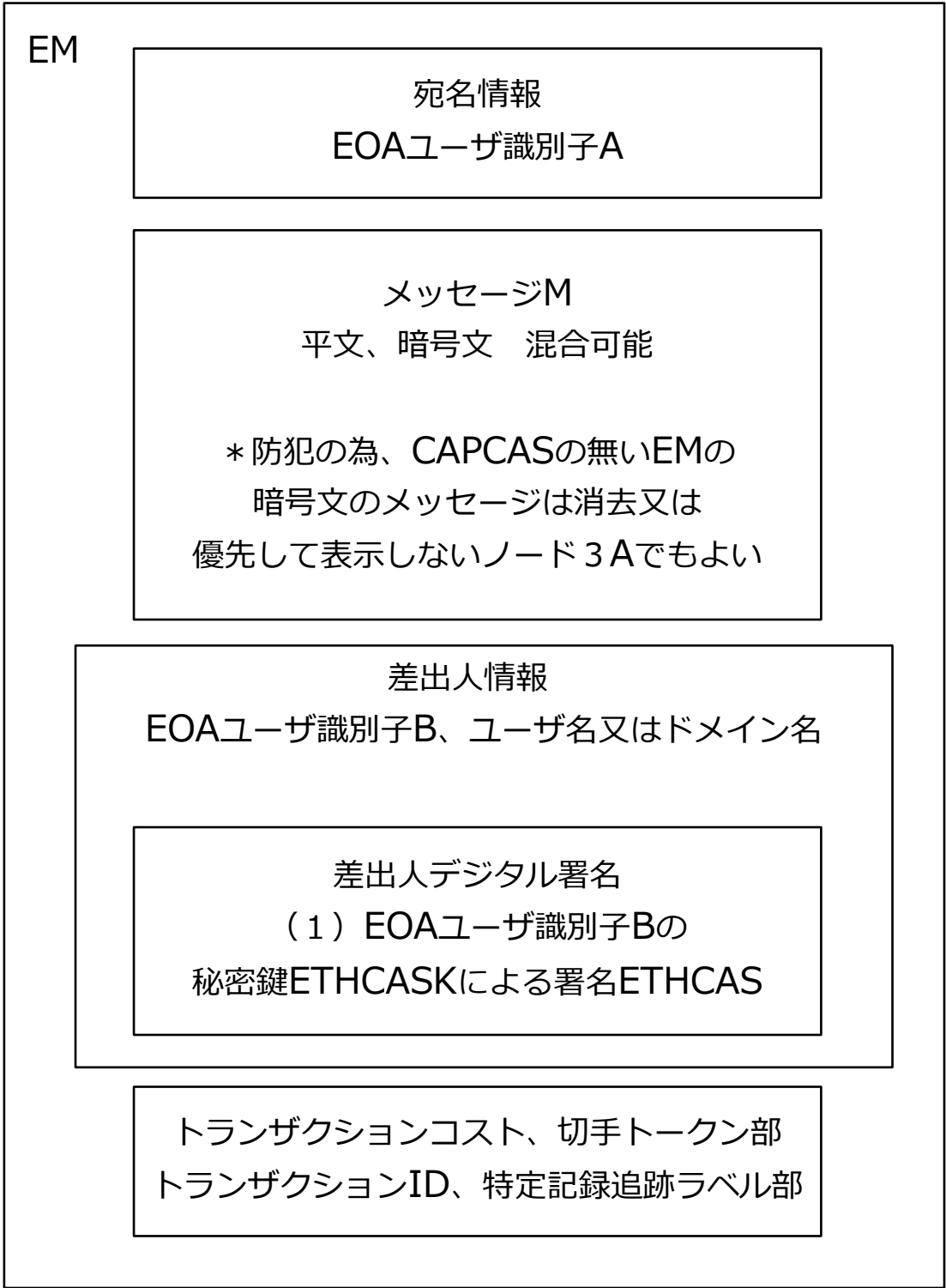
* 公的・民間の電子証明書による電子署名があり、
防犯の為発信者たどれる。Mは暗号文も搭載可能



(B) デジタルはがき、一部メッセージ暗号化

* ETHCASが30APPEM-ULのユーザ識別子による署名の場合、信頼の輪により信頼される。

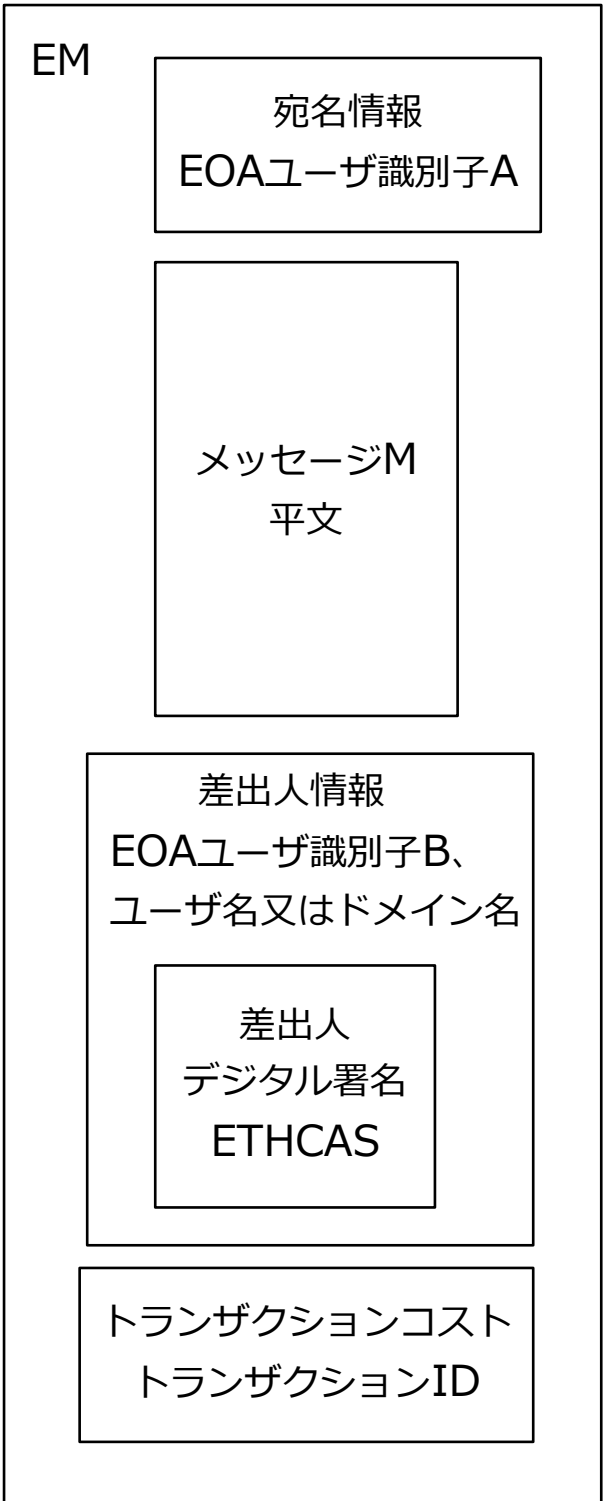
* EOAの秘密鍵はランダム生成可能でETHCASが未認証・匿名状態のとき匿名のはがきになる。



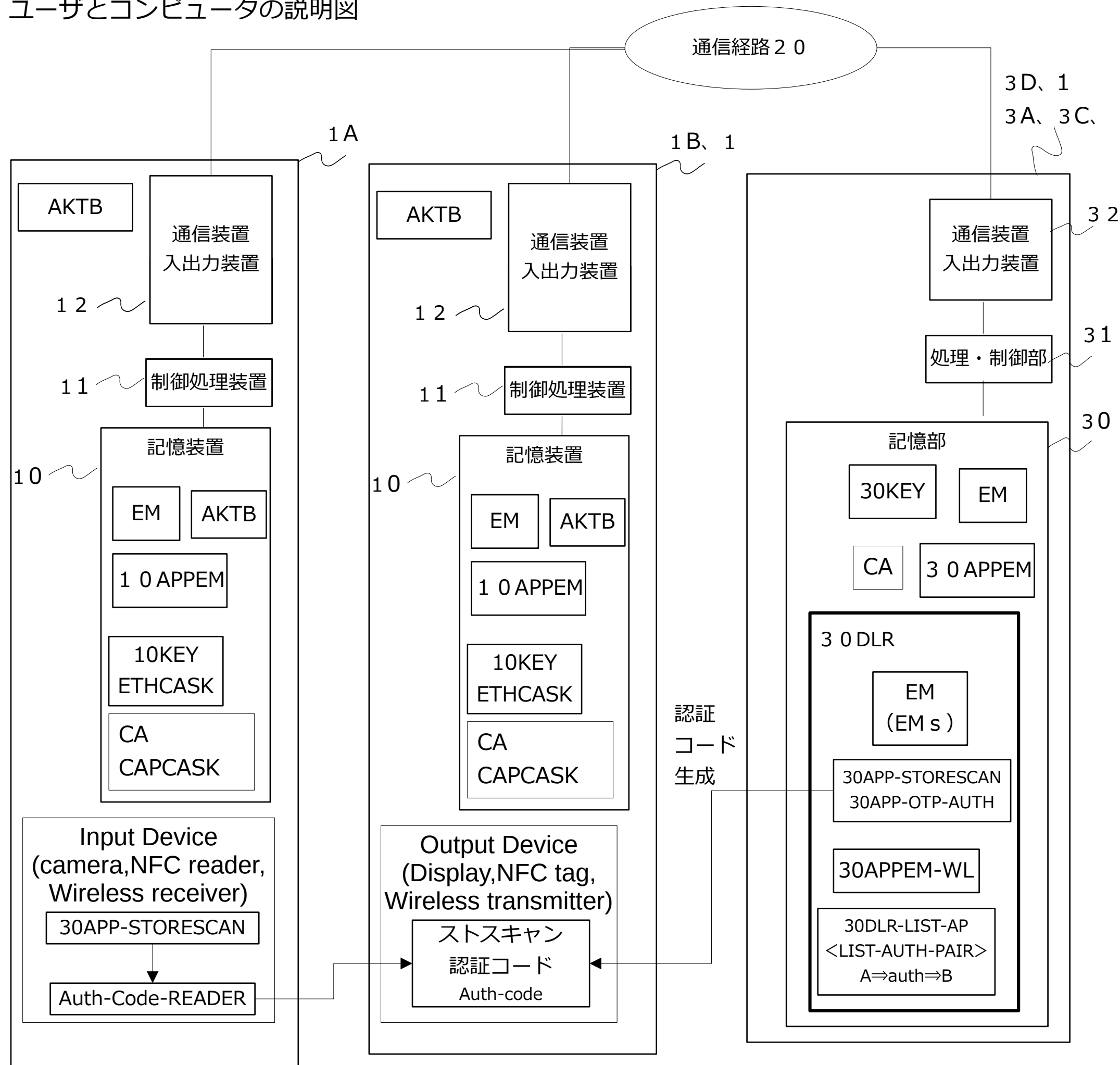
(C) デジタルはがき

* メッセージ公開型

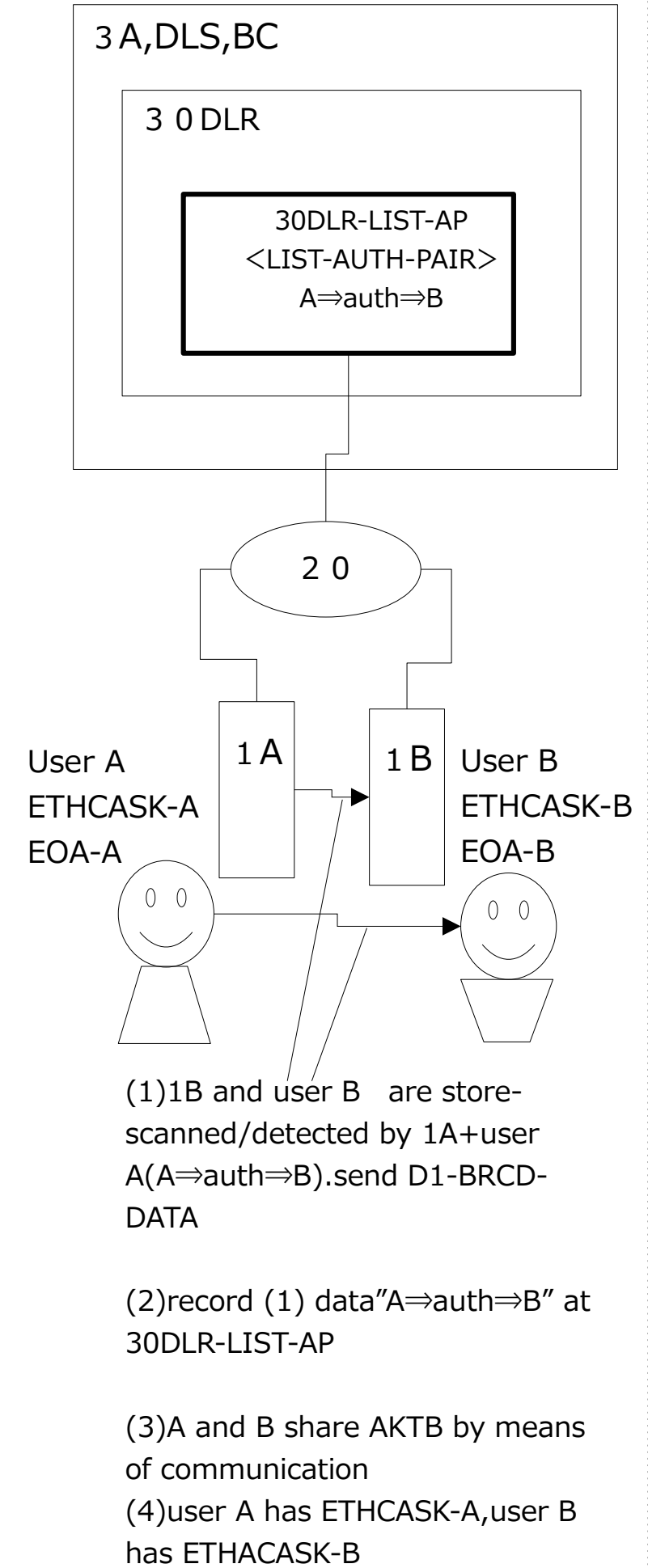
* SNSにおける公開型メッセージ・発言

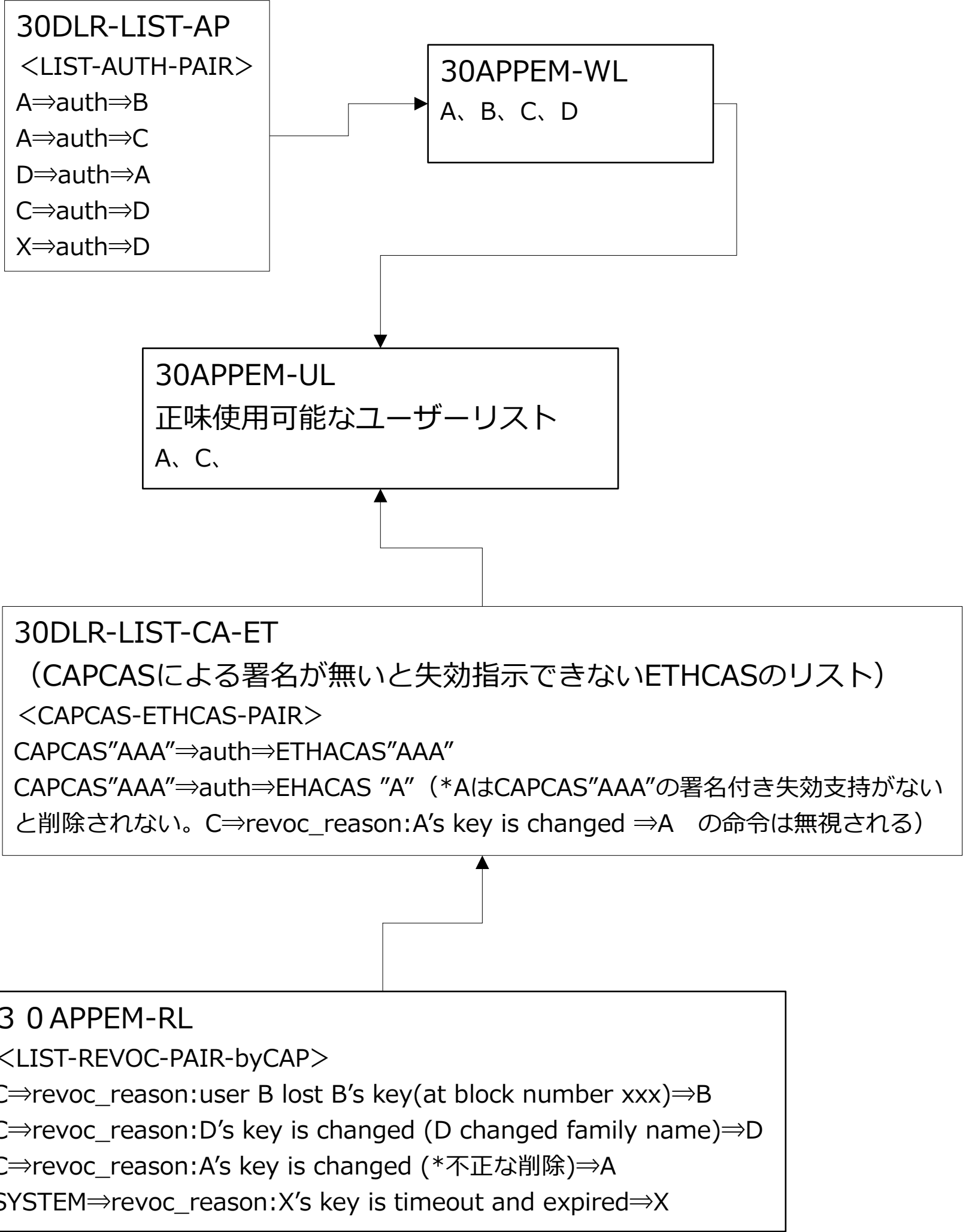


ユーザとコンピュータの説明図

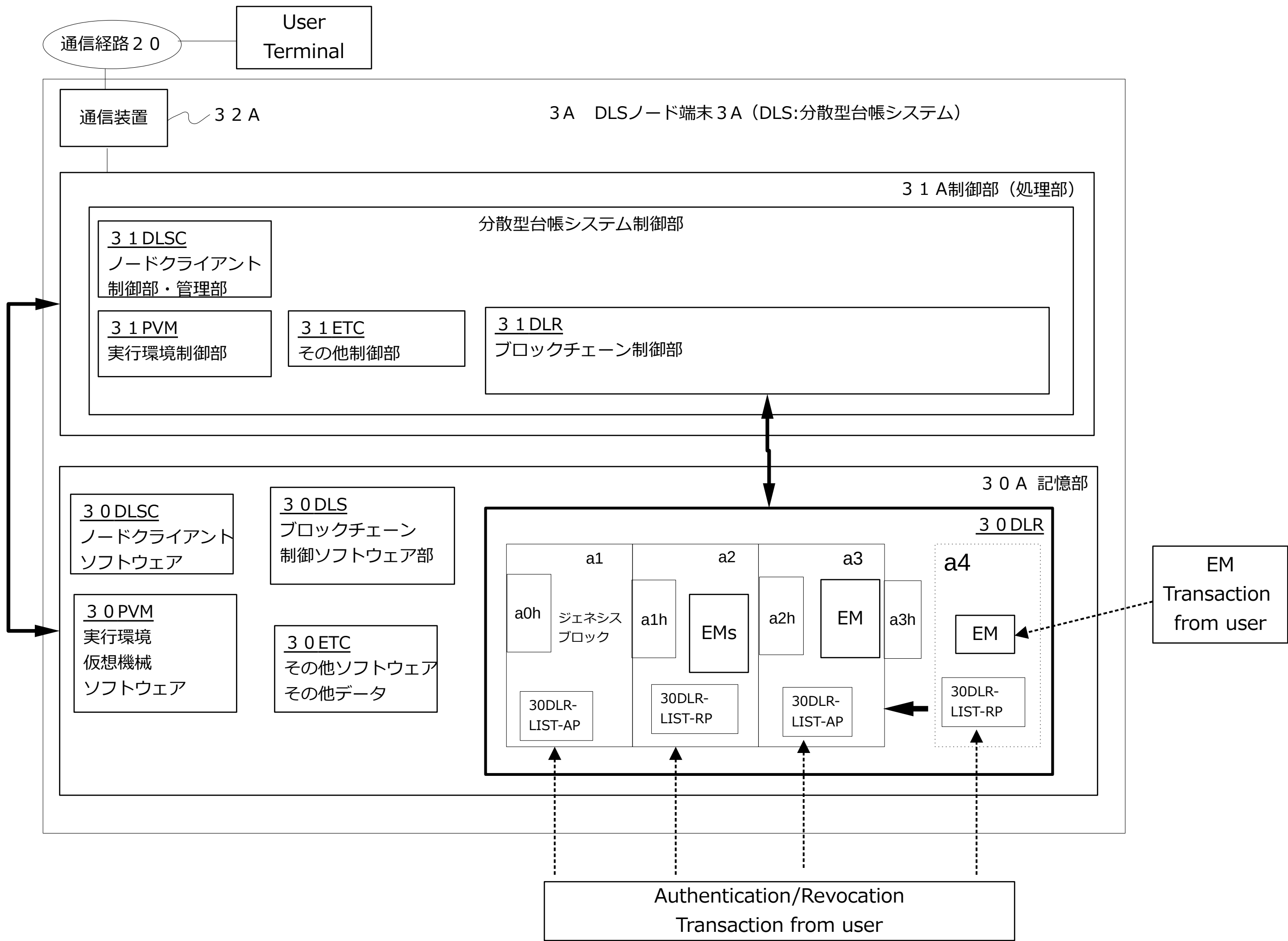


D1：対面コード認証の説明例

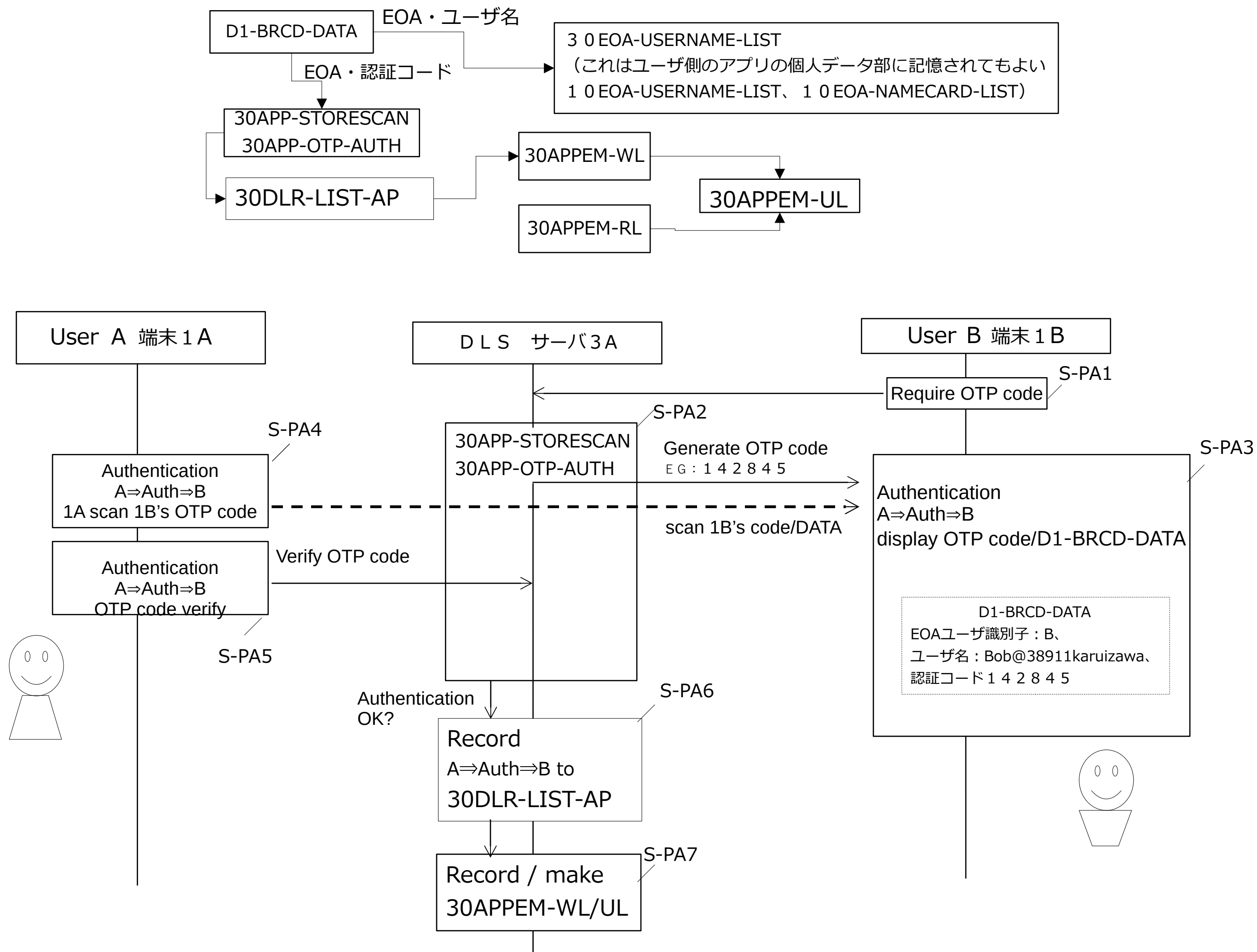




ノード端末 3 Aとブロックチェーン型データ記憶部 3 0 DLRの説明図



ユーザ認証とホワイトリスト作成、デジタルID・名刺交換



差出人によるはがきEMのトランザクション生成送付記録と、受取人によるはがきEMの閲覧

